

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	政策情報のユニバーサル化・国際化に関する実証と実践
研究代表者	増山 幹高（政策研究大学院大学・政策研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究の、日本の政策情報へのアクセスを向上させるという目的は社会的に意義がある。本研究は、これまでの応募者の研究成果に基づき、行政情報については市民が求める自治体の情報を分析した上でのデータベース構築、立法情報については国会審議の効率的動画配信によるユニバーサル化、英文化を追究することによって、市民が政策情報を政策判断に活用していくために必要な情報公開のシステムの在り方を解明しようとする先駆的研究である。</p> <p>本研究の波及的な研究成果については具体性に欠けると懸念する意見もあったが、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>